

令和 5 年 度

ク リ ー ニ ン グ 師 試 験 (筆 記) 問 題

衛 生 法 規 に 関 す る 知 識
公 衆 衛 生 に 関 す る 知 識
洗 濯 物 の 処 理 に 関 す る 知 識

9 : 0 0 ~ 1 0 : 0 0
(6 0 分)

指示があるまで開いてはいけません。

(注 意 事 項)

- 1 解答用紙の右上の記入欄に受験番号及び氏名を記入してください。
- 2 解答は、すべて解答用紙に記入してください。
- 3 解答の誤りを訂正する場合は、消しゴムで消して訂正してください。
- 4 解答は、1つの解答欄に1つだけ記入してください。2つ以上書くとその解答は無効になります。
- 5 試験開始後 30 分を経過するまでは、退室できません。
- 6 退室するときは、解答用紙を裏返して机の上に置いてください。
- 7 試験終了後、解答用紙のみを回収します。問題用紙は持ち帰っても構いません。

I 衛生法規に関する知識

問1 次のクリーニング業法に関する記述について、正しいものには○印を、誤っているものには×印を解答欄に記入しなさい。

- (1) 溶剤を用いず、水と洗剤を用いて衣類を洗濯することを営業とすることは、クリーニング業に該当しない。
- (2) 営業者は、洗濯物を洗濯又は仕上げを終わったものと終わらないものに区別しておかなければならない。
- (3) 営業者は、クリーニング師に洗たくを行わせる場合に限りクリーニング所以外においても、営業として洗たく物の処理を行うことができる。
- (4) 営業者は、洗濯物の受取及び引渡しに際しては、利用者に対し、苦情の申出先を明示しなければならない。
- (5) 営業者は、クリーニング所の構造設備について都道府県知事の検査を受け、構造設備がクリーニング業法の規定に適合する旨の確認を受けた後でなければ、当該クリーニング所を使用してはならない。

問2 次のクリーニング業法に関する記述について文中の（ ）にあてはまる最も適当な語句を下の語群から1つ選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

- ・ クリーニング業に対して、（ 1 ）等の見地から必要な指導及び取締りを行い、もってその経営を（ 2 ）に適合させるとともに（ 3 ）の擁護を図ることを目的とする。
- ・ 営業者は、洗濯物の受取及び引渡しをしようとするときは、（ 4 ）、利用者に対し、洗濯物の（ 5 ）等について説明するよう努めなければならない。

ア 処理方法	イ 社会性	ウ 公衆衛生	エ 料金
オ あらかじめ	カ 公共の福祉	キ 環境衛生	
ク 利用者の利益	ケ 求めに応じて	コ 経営者の利益	

問3 次の記述について、正しいものには○印を、誤っているものには×印を解答欄に記入しなさい。

- (1) クリーニング業法に基づきクリーニング所を開設する場合、開設しようとする者は、必ずしもクリーニング師である必要はない。
- (2) クリーニング所において、クリーニング師以外の従事者を新たに雇い入れた場合は、クリーニング業法に基づき、その従事者の本籍、住所、氏名及び生年月日を、都道府県知事に届け出なければならない。
- (3) コイン・オペレーション・クリーニング機を設置し、セルフサービスによりこの機械を利用させる営業は、クリーニング業法で定めるクリーニング所には該当しない。
- (4) 建築基準法では、すべてのドライクリーニングを営む工場について、安全性の観点から、溶剤の種類に関係なく住居系地域や商業系地域における立地を禁止している。
- (5) 営業者は、クリーニング所の開設の日又は無店舗取次店の営業開始の日から一年以内に、すべての従業者にクリーニング業務に関する知識の修得及び技能の向上を図るための講習を受けさせなければならない。

問4 次のクリーニング業法及び同法施行規則に関する記述について文中の（ ）にあてはまる最も適当な語句を下の語群から1つ選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

- ・ クリーニング師は、その本籍又は氏名を変更したときは（ 1 ）日以内に免許証の訂正の申請を免許を与えた都道府県知事にしなければならない。
- ・ クリーニング師がその免許証を汚した場合、（ 2 ）ヶ月以内に免許証を与えた都道府県知事に再交付申請をしなければならない。
- ・ 都道府県知事は、営業者又はその使用人で、洗濯物の処理又は受取及び引渡しの業務に従事するものが伝染性の疾病にかかり、その就業が公衆衛生上不相当と認めるときは、（ 3 ）その業務を停止することができる。
- ・ 営業者は、洗たく物の洗たくをするクリーニング所に、業務用の機械として洗たく機及び（ 4 ）をそれぞれ少なくとも1台備えなければならない。ただし、（ 4 ）の効用をも有する洗たく機を備える場合は、（ 4 ）は、備えなくてもよい。
- ・ 都道府県知事はクリーニング師がクリーニング業に関し犯罪を犯して（ 5 ）以上の刑に処せられたときは、その免許を取り消すことができる。

ア プレス機	イ 処理方法等	ウ 完治するまで	エ 1
オ 期間を定めて	カ 10	キ 2	ク 14
ケ 鑑別方法等	コ 罰金	サ 脱水機	シ 懲役

Ⅱ 公衆衛生に関する知識

問1 次の文章の（ ）にあてはまる最も適当な語句を下の語群から1つ選び、記号を解答欄に記入しなさい。

- ・ 日本国憲法第25条では、「すべて国民は、（ 1 ）で文化的な（ 2 ）の生活を営む権利を有する。国は、すべての生活部面について、社会福祉、社会保障及び（ 3 ）の向上及び増進に努めなければならない。」とされている。
- ・ 世界保健機関（WHO）憲章では、「健康とは（ 4 ）、精神的及び社会的に完全によい状態にあることであり、単に（ 5 ）又は虚弱でないということではない。」と定義している。

ア 最低限度	イ 健康	ウ 貧困	エ 老化	オ 経済的
カ 疾病	キ 生活衛生	ク 家庭的	ケ 公衆衛生	コ 平等
サ 最高水準	シ 教育	ス 肉体的	セ 伝染病	ソ 環境衛生

問2 次の記述について、正しいものには○印を、誤っているものには×印を解答欄に記入しなさい。

- (1) クリーニング所の経営者は、従業員に対して、自ら進んで健康状態を申告することを徹底し、感染症の罹患が疑われる場合は、医療機関の受診を勧める等、従業員の健康管理に注意をする必要がある。
- (2) 感染拡大の原因が主に経口感染、接触感染である感染症については、流水と石鹼による「手洗い」と擦式アルコール性消毒薬を使用した「手指消毒」が予防策として効果がある。
- (3) ブドウ球菌などは乾燥表面で約1か月程度は生存可能であるが、多くの微生物は湿潤環境を好むため、洗濯物は乾燥状態で保管すべきである。
- (4) 利用者から洗濯物を預かる場所は、一般的に始業前と終業時の1日2回ふきとり清掃を行えば、常に衛生管理ができるといわれている。
- (5) 営業所内の特に人の手が良く触れる場所の消毒方法については、消毒用エタノールや界面活性剤等を適切な濃度で直接噴霧することが推奨されている。

問3 次の文章の（ ）にあてはまる最も適当な語句を下の語群から1つ選び、記号を解答欄に記入しなさい。

- ・ ノロウイルス感染者の吐ぶつや便が布団などのリネン類に付着した場合の処理について、下洗いしたリネン類の消毒は、熱水洗濯が適しているが、熱水洗濯が行える洗濯機がない場合には（ 1 ）による消毒が有効である。ただし、（ 1 ）は（ 2 ）作用があるため、使用する際は注意しなければならない。また、下洗いの際は、（ 1 ）が（ 3 ）ppm以上になるようにして消毒する。
- ・ （ 4 ）菌は、芽胞を形成するので、極端に抵抗力の弱い患者が使用する病院リネンにおいては特殊な処理による消毒をする必要がある。病院での集団感染事例には、（ 4 ）菌が（ 5 ）中に存在する状態で発熱等の感染症状を呈する（ 5 ）感染症があり、病院リネンに付着した（ 4 ）菌が原因と考えられている。

ア	消毒用アルコール	イ	血流	ウ	還元	エ	1000
オ	漂白	カ	脱水	キ	飛沫	ク	経口
ケ	逆性石鹼	コ	酢酸	サ	セレウス	シ	500
ス	次亜塩素酸ナトリウム	セ	サルモネラ	ソ	カンピロバクター属		

問4 次の記述について、正しいものには○印を、誤っているものには×印を解答欄に記入しなさい。

- (1) 消毒とは、全ての微生物を死滅させてしまうことをいう。
- (2) クリーニング所で使用したテトラクロロエチレンや石油系溶剤の廃油等の廃棄物は、その含有濃度や引火性によっては特別管理産業廃棄物に分類されることがある。
- (3) 通常、クリーニング業において、指定洗濯物を取扱う上での消毒方法には物理的方法（高熱処理法）と化学的処理法（消毒剤処理法）とがある。
- (4) 洗たく物を洗たくするクリーニング所の洗浄施設は、水質汚濁防止法で規定される特定施設には該当しない。
- (5) VOCとは、揮発性有機化合物のことである。

Ⅲ 洗濯物の処理に関する知識

問1 次の記述について、正しいものには○印を、誤っているものには×印を解答欄に記入しなさい。

- (1) モアレ加工とは、織物を加熱ローラーと紙や綿のローラーの間に通して、凹凸のある模様を付ける加工である。
- (2) 綿は、吸湿性や吸水性に優れ、洗濯に強く、しわになりにくい。
- (3) キュプラは、スーツの裏地などに使用される合成繊維の1つである。
- (4) 糊付けは、布生地に光沢やハリを与え、付着した汚れが容易に取れる効果がある。
- (5) 温水を使うクリーニングをランドリーといい、衣類の型くずれや脱色はドライクリーニングに比べて小さい。

問2 次の記述について、あてはまる最も適当な語句を下の語群から1つ選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

- (1) パルプを原料として作られた粉末状の水溶性高分子で、再汚染防止効果に優れ、洗濯物の白さが向上するため、ランドリー用助剤として使用される。
- (2) 合成繊維の中で最も軽く、水に浮く。吸湿性が全くないため、カーペットや布団綿に用いられる。
- (3) 9,000メートルあたりの糸の重さ（グラム）を示す単位。
- (4) わが国で最初に発明された合成繊維。合成繊維の中では最も吸湿性が高い。
- (5) ポリエステルの形態安定性とナイロンの柔らかさを兼ね備えた繊維といわれ、原料がトウモロコシからバイオ技術（発酵法）によって製造でき、環境に優しい繊維として注目されている。

ア	アクリル	イ	パイル	ウ	ポリビニルアルコール（PVA）				
エ	ビニロン	オ	番手	カ	テックス	キ	ポリクラール	ク	デニール
ケ	カルボキシメチルセルロース（CMC）				コ	ポリプロピレン			
サ	ポリブチレンテレフタレート（PBT）				シ	ポリ酢酸ビニル			
ス	ポリトリメチレンテレフタレート（PTT）								

問3 次の記述について、()の中から適切な語句を選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

- (1) 背広の襟、スラックスの折り目など、品物を硬く仕上げたいときには、(ア：上ごて蒸気、イ：下ごて蒸気)を使う。
- (2) (ア：洋白、イ：アルミ合金、ウ：真鍮(しんちゅう))製のファスナーは軽く、開閉もスムーズであるが、耐摩耗性が問題となる。
- (3) (ア：ユリア、イ：アクリル、ウ：ナイロン) ボタンは強度があり割れにくく耐摩耗性、耐溶剤性があるが、耐熱性が高くないため一般的にアイロンは直接あてない。また、染色した製品の多くは後染のため、アイロン熱による変色にも注意が必要である。
- (4) (ア：皮革、イ：毛皮、ウ：和服)のクリーニングは、一般にコーンパウダー(トウモロコシの芯の粉)やソーダスト(おがくず)などを用いたパウダークリーニングが推奨される。また、脱脂されるためドライクリーニングは避けた方が望ましい。
- (5) 溶剤の特性とドライクリーニング適正の関係性において、溶剤の(ア：粘度、イ：蒸気圧、ウ：カウリブタノール値(KB値))が大きいほど、油溶性の汚れの洗浄力が大きく、洗浄時間を短縮できる。

問4 次の記述が説明しているものを下の語群または表示記号から1つ選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

- (1) チャージシステムとは、ドライ溶剤にドライソープを通常（ ）%添加して洗う一般的なドライクリーニングシステムである。
- (2) （ ）は、引火・可燃性はないが、有毒性を有し、公害性が高いため、水質汚濁防止法などの環境法令で規制されており、取扱いに注意が必要である。
- (3) ランドリー用水の必要条件の一つに鉄分や（ ）が含まれていないことが挙げられ、その濃度は0.1ppm以下が望ましいとされている。
- (4) 取扱い表示（JIS L 0001:2014）で、日なたでのぬれ平干し乾燥がよいことを表示する記号。
- (5) 取扱い表示（JIS L 0001:2014）で、底面温度110℃を限度としてスチームなしでアイロン仕上げ処理ができることを表示する記号。

ア 0.5～1	イ 2～5	ウ 5～10	エ ベンジン	オ アセトン
カ モノクロロベンゼン		キ テトラクロロエチレン		
ク ナトリウム	ケ マンガン	コ カルシウム		
サ 	シ 	ス 	セ 	ソ 
タ 				